

若者のための男女共同参画セミナー

～男女の対等なパートナーシップについて考える～



県立男女共同参画センターでは、11月25日に大学生の企画・運営による男女共同参画セミナーを開催しました。神戸市看護大学教授の高田昌代さんを講師としてお招きし、デートDVと男女の対等なパートナーシップについてのお話の後、学生による交流会が行われました。恋愛のメリット・デメリットについて話し合ったり、デートDVを受けている友だちから相談を受けた際に、どのような言葉がけをするかについて話し合いました。

〈神戸市看護大学 教授 高田 昌代さんより〉

友だちから相談を受けた時は、「心を持って聴くこと（批判しない）」「継続して聴く（フォローアップが大切）」「私は、あなたが心配といったメッセージを伝える」「彼（彼女）のためでなく、まず自分を大切にすること」を伝える」といったことが大切です。

また、DVがおこる背景として、伝統的な性別役割分業社会や男女の役割期待があります。

従来の社会通念や固定観念では、「女性は可愛く気が利いて、多少控えめが良い」「男性は判断力があって少々引っ張っていくくらいの強引さが必要」といった考え方が根強く、このような状況のため、女性がDVの被害を受けやすい傾向にあります。相手より力をもっている人は、自分の力に気づきにくい。力をもっている者は、その力が支配（マイナス面）の方向に動いていないかを考える必要があります。

自分の心や身体、思いをまずは大切にするとともに、相手を自分と同じように尊重することが大切です。自分の中で、人を支配していないかどうかを常に考えて欲しいと思います。

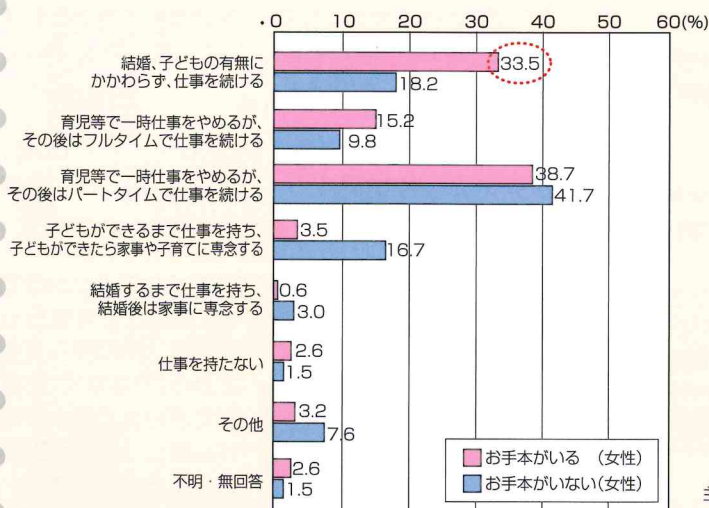
参加した大学生からは、「自分を大切にしたい気持ち、相手を思いやる気持ちを忘れずに、恋愛をしていきたいと思った。」「多くの大学生に聞いてほしい内容だった。」といった感想を聞くことができました。

滋賀県の若者への意識調査から

県では、平成23年度に県内の20歳代の男女を対象に、男女共同参画に関する意識調査を実施しました。現代の若者は仕事や生活に対して、どのような思いや考えをもっているのでしょうか。意識調査結果の一部をご紹介します。

★仕事と家庭の両立のお手本がいる女性の方が継続就労を選択

●「仕事と家庭を両立し、社会で活躍するためのお手本となるような人物」がいる女性の方が、いない女性に比べて継続就労を選択する割合が高くなっています。

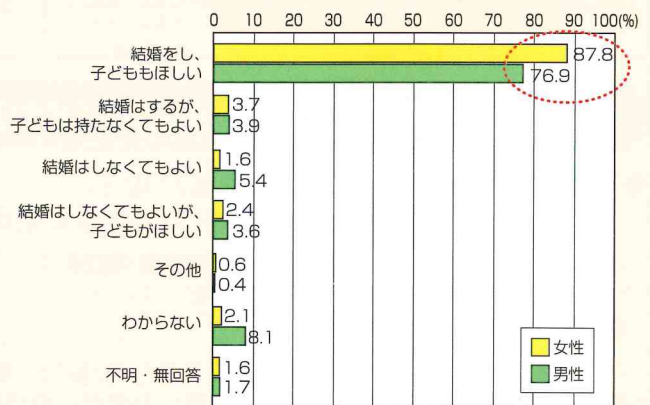


●「若年者の男女共同参画に関する意識調査」(平成23年度滋賀県実施)の詳細については、次のホームページをご覧ください。
<http://www.pref.shiga.lg.jp/c/danjo/ishiki-chosa/index.html>

●滋賀県男女共同参画審議会では、「若年者の男女共同参画に関する意識についての検討結果」を平成24年6月に取りまとめています。詳しくは次のホームページをご覧ください。
<http://www.pref.shiga.lg.jp/shingikai/danjo-shingikai/jakunensya/jakunensya.html>

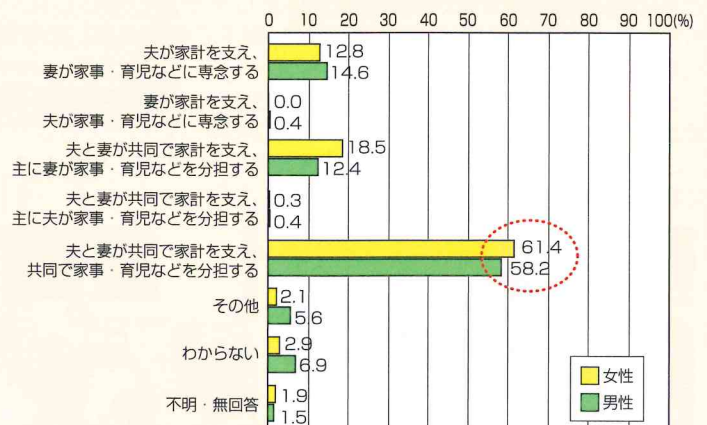
★男女とも、多くが「結婚をし、子どももほしい」を希望

●「結婚」「子ども」についての考え方を聞いたところ、女性の87.8%、男性の76.9%が「結婚をし、子どももほしい」と回答しています。



★結婚後の男女の役割分担として、「夫婦が共同で家計を支え、家事・育児も分担する」が最多

●結婚後の男女の役割分担について聞いたところ、「夫と妻が共同で家計を支え、共同で家事・育児などを分担する」が男女ともに最も多くなっています。



※G-NET しが推進員とは…

男女共同参画センターの講座修了生など、地域の男女共同参画の推進に関わるリーダーです。

こんにちは、G-NETしが推進員です!

「伝えたい!」ミニフォーラム ～「日本女性会議2012仙台」をふり返って～

2012年10月26日より3日間にわたって、日本女性会議が仙台で開催されました。その会議に滋賀県から参加し、強い感銘を受けた有志のみなさんがミニフォーラムを開催しました。フォーラムでは、女性会議参加者からの報告会、京都橘大学名誉教授の鎌田明子さんを招いてのミニ基調講演、参加者によるフリートークが行われました。

〈ミニフォーラムを終えて〉

歴史的な大震災と原発事故を経験した今、私たちは、今後も続く被災地の人々の困難に心を寄せながら、あらゆる弱い立場の存在への配慮と支援を大切にする真に豊かな社会を構築するために、「仙台宣言」にもある、女性自身が「きめる」こと、女性自ら「うごく」こと、責任を果たさなければならないと痛感しました。(ミニフォーラム世話人会より)



ミニフォーラムでの様子

「被災地から発信! 女性の力が地域を変える」さんかく塾【エキスパート編】 講師 NPO法人イコールネット仙台 代表理事 宗片恵美子さん

2月10日(日)には、滋賀県立男女共同参画センター主催のさんかく塾【エキスパート編】が開催されました。宗片恵美子さんの講演につづく交流会で、ミニフォーラム世話人会から、ミニフォーラムの様子を伝えていただきました。交流会にも参加された宗片さんからは、次のメッセージをいただきました。

〈NPO 法人イコールネット仙台代表理事 宗片恵美子さんより〉

防災に直結しなくても「地域を変えなければならない」という課題意識はあるはずです。その中で、女性がどう関わっていくかが課題なのです。リーダーシップというものは一人居てとるものではなく、たくさんの女性が連帯し、みんなで育てていくものです。そのためには、女性自身も力をつけることが大切です。女性たちにも責任があるということを感じ、男性と対等に発言できる力を身につけること、エンパワーメントしていくことが重要です。

みなさんの後に続く人は必ず現れます。あきらめずに活動を続けていきましょう。



宗片さんを囲んでの交流会

市・町から発信! こんな取組を見つけました!

◆豊郷町 りんぽかんフェスティバル! 「イクメンパパのもっと子育てを楽しもう!」

平成24年9月23日(日)に、平成24年度滋賀県立男女共同参画センター「さんかく協働講座」を豊郷町隣保館で開催しました。

豊郷町からの報告を紹介します。

この協働講座では、「イクメン～子育てを楽しむパパ～」をテーマに、男性も育児休業を積極的に取得し、子育てを楽しみながら自分自身もより成長することを目的として開催しました。

会場となった隣保館デイルームには、30組以上の家族が参加されました。ファザーリング・ジャパン滋賀のメンバーによる講演や絵本の読み聞かせ、バルーンアートなど、若いお父さんも子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごしました。

講演では、子どものかかわりや家庭の大切さをお話いただきました。絵本の読み聞かせでは、身体を動かしたり声を出したりしながら、表現のおもしろさを親子で楽しみました。また、親子で気軽に楽しめる活動として、バルーンアートを体験しました。

地域行事の参加に消極的だった若いお父さんたちでしたが、今回の講座は参加しやすく、男女共同参画について関心を持ってもらえたようです。

この取組をきっかけに、若いお父さんたちが、子育てに興味をもってもらえればと思います。



男&女 ア・ラ・カルト

～セグロセキレイの不思議な習性～

セグロセキレイという鳥の社会では、親は子どもをオスとメスで区別するらしい。巣立ったヒナがある程度大きくなると、メスは先に親のなわばりから追い出される。オスはより長い間、食事のめんどうを見てもらえる。

なぜか?

・なわばりをつくって守るのは主にオスなので、親は強いオスをつくるのが、自分の血を濃く子孫に伝えていくことになる。

といったことが理由だと考えられています。

人間社会では男女共同参画社会の実現に向けて取り組みが進んでいます。鳥と違って素晴らしい「知恵」を持った人間ですから、「男だから」「女だから」ではなく、生まれてきた全ての人が幸せに暮らせる社会が実現できるはずですね。



《参考文献》鳥のおもしろ私生活

滋賀県立男女共同参画センター(G-NETしが)事業のご案内

★女性のためのチャレンジ相談★ 無料相談

専門の相談員が起業やキャリアアップ、NPO活動などチャレンジしたい女性へのアドバイスや情報提供などを行います。(要予約)

〈相談日〉 毎月第2木曜日 9:00～、10:00～、11:00～
 毎月第4土曜日 13:30～、14:30～、15:30～
 予約受付電話：TEL 0748-37-3751

※無料託児有り(要予約)

★男女共同参画相談室★ 無料相談

「女だから・・・男だから・・・」と差別された。夫や妻、パートナー、恋人からの暴力、夫婦間の問題、セクハラ・パワハラなど、一人で悩まないで、まずは、お電話下さい。

◆相談専用電話 **0748-37-8739** 秘密は
厳守します。

◎総合相談・カウンセリング
 火・水・金・土・日曜日 9:00～12:00 13:00～17:00
 木曜日 9:00～12:00 17:00～20:30

◎男性相談(面談)
 土曜日 13:00～17:00

◆法律相談(要予約) ※無料託児有り(要予約)

★滋賀マザーズジョブステーション★ 無料相談

就労に向けたカウンセリングや仕事と子育ての両立支援相談をはじめ、ハローワークマザーズコーナーもありますので、ぜひお気軽にご利用ください。

※祝日も相談できます(ハローワークを除く)
 ※相談の際の無料託児有り(予約不要)

◆総合受付 0748-36-1831
 ◆利用時間 9:00～17:00
 ※ハローワークマザーズコーナー(センター休所日、祝土日を除く)
 [昼休憩 12:00～13:00]

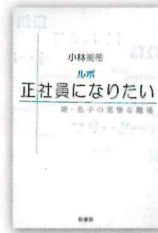
★G-NETシネマ★ 参加無料

～毎月1回上映しています～
 詳しい内容はホームページで!

◎小学生低学年以下は保護者同伴のこと。 ※無料託児有り 7日前までに要予約

★図書・資料室から★

～若い人の生き方、結婚、子育て、仕事について～



『ルポ 正社員になりたい 娘・息子の悲惨な職場』

小林美希 著
 影書房(366.8円)
 バブル経済崩壊後から続く不況と労働市場の規制緩和。就職超氷河期といわれ、働く場を得るのも大変な状況の中、非正規雇用として働く人々の声を聞く。



『働く君に贈る25の言葉』

佐々木常夫 著
 WAVE出版(366.3円)
 これから社会に出る若い人たちへ、今、頑張っている人たちへ。失敗も成功も経験し苦難を乗り越えた今だからこそ伝えたい。佐々木常夫さんの、強さの根底にある優しい言葉の数々。



『震災婚』

震災で生き方を変えた女たち
 ライフスタイル・消費・働き方
 白河桃子 著
 ディスカパートウエンティワン(367.2円)
 東日本大震災後、女性たちの考え方に変化が生じた。恋愛や結婚、離婚、出産などが増加したという。被災後の女性たちの心の変化を追い、震災が日本人の心に与えた影響を考える。



『若者の介護意識』

親子関係とジェンダー不均衡
 中西泰子 著
 勁草書房(369.2円)
 ライフスタイルの多様化、女性の就労、少子高齢化など社会の変化は介護のありかたも大きく変化する。子世代は親への介護をどのように考えているのかをジェンダーの視点で読みとる。

図書・資料室の利用案内

“G-NETしが”の図書・資料室には、多くの書籍・資料をご用意しております。どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

■貸出
 本は一人15冊まで(3週間)
 ビデオは一人2本まで(1週間)

■開室時間
 午前9:00～午後5:00

■休室日
 月曜日・祝休日の翌日・年末年始・施設点検日



JR近江八幡駅下車南口より500m(徒歩10分)
 または近江八幡駅南口から近江バス
 『男女共同参画センター前』下車

G-NETしが

滋賀県男女共同参画情報誌
 vol.24 2013年 春号

発行日/平成25年3月
 編集・発行/滋賀県立男女共同参画センター
 〒523-0891

滋賀県近江八幡市鷹飼町80-4
 TEL 0748-37-3751
 FAX 0748-37-5770
 E-mail ct30@pref.shiga.lg.jp
 H P http://www.pref.shiga.lg.jp/c/g-net/

【開所時間】午前9時～午後9時
 【休所日】月曜日・祝休日の翌日
 年末・年始・施設点検日